

区立幼稚園のあり方について

1 経緯

保育需要の高まりの中で、区立幼稚園の園児数は令和2年度以降減少していることから、令和4年度末に区立曳舟幼稚園を廃止した。しかしながら、区立幼稚園の充足率はなお低い状態であることから、更なる適正配置を行う。また、充実した教育活動及び適正な幼稚園運営を行うため、学級編制の基準を定めることとする。

2 区立八広幼稚園の廃止

区立幼稚園の充足率が低くなっている中、令和6年度に、入園申込者が少なく、4歳児学級を編制していない区立八広幼稚園を廃止する。

(1) 時期

令和6年度末とする。

(2) 今後のスケジュール

- | | |
|----------|-----------------------------|
| ・令和6年7月 | 廃止園の関係者への説明 |
| ・令和6年9月 | 墨田区立幼稚園設置条例の改正 |
| ・令和6年10月 | 区民への周知 |
| ・令和6年11月 | 令和7年度新入園児募集（区立八広幼稚園は募集しない。） |
| ・令和7年3月 | 閉園式 |

3 学級編制の考え方

幼児教育において、他者との十分な関わりを持ち集団生活を送るためには、1学級6人以上が適当である。したがって、令和7年度以降は、新入園児の申込人数が6人以上の場合に4歳児の学級を編制し、5人以下の場合は学級を編制しないこととする。